



・・・夢をかたちに・・・

有限会社 アーキ・テック
代表取締役 入来院 洋一

弊社は、25年前に建設業から建築模型へ業務内容を切り替えて、関東・関西の仕事の受注を中心に手がけてきました。15年ほど前に受注した模型の物件でカヌーのミニチュアの製作を依頼され、それまでまったく知らなかったカヌーを作ることになり納品しました。その後、趣味程度でカヌー作りを楽しんでいたのですが、キット化を考えるようになり、10年ほど前に、県工業技術センターに相談しました。当時、センターでは、レーザー加工技術を用いて、仏壇部品の効率生産や高品質化の研究をされており、レーザーで、木製の仏壇部品が精密に高速に切断される様を見て、これだと思いました。

センターで、NCプログラム作成法やレーザー加工機の操作方法等の指導を受けて、試作開発に取り組みました。開発段階では、接合形状や接着方法、塗装方法等の様々なアドバイスを頂き、「誰でも簡単に作れるパズルカヌー」の製品化にこぎつけることができました。レーザー切断用CAD図面の作成では、弊社が長年、模型製作で培ってきた3DCAD技術を活かし、立体から平面に展開する方法で、正確な切断用CADデータを作成することができました。レーザーカットにより多品種・小ロットのカヌーキットが実現でき、地方から全国への販路が確保できるようになりました。

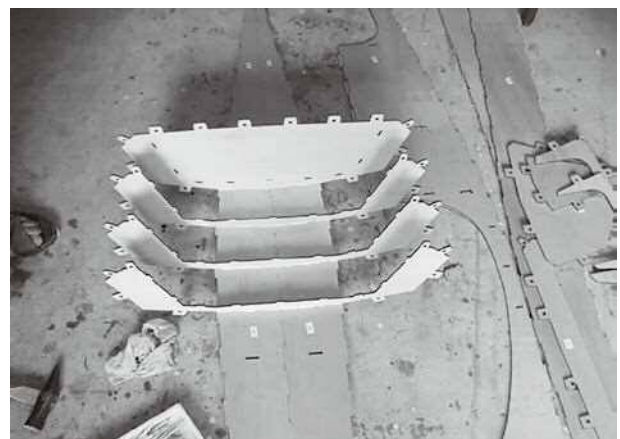
いちばん苦労したのは船体の安定性のための船体形状を割り出すことでした。開発から3年後位まで試行錯誤の連続でしたが、沖縄の伝統的なサバニの形状からヒントを得て、スピードと安定性を両立したカヌー船体形状を開発しました。また、キット化にあたりさまざまな工法や商品の形状等を考え、誰でも確実に組み立てられ、軽量化・高強度の「レーザーパズル工法」を考案しローコスト化も実現しました。さらに、当初から宣伝費のかからないネット販売を主体に行なってきましたので、韓国等の海外にも販売をしています。現在

は国内シェアをほとんどおさえるところまでできました。

代理店を使わないネット直販や、注文を受けてから製造する在庫ゼロ方式、梱包しやすい製品形状で輸送コストを抑え、平均単価が約5万円の低価格を実現し、これまでに1,200セットを販売しました。販売当初は、50～60代の男性が主な顧客でしたが、最近は若い世代も増えてきました。今後は、スマホ用のWebサイトの立ち上げや、コックピット入替型カヤックの新製品を開発し、更なる事業拡大を図りたいと思っています。



完成したパズルカヌー



パズルカヌーの組み立て